

# モモの樹体ジョイント仕立て棚の開発

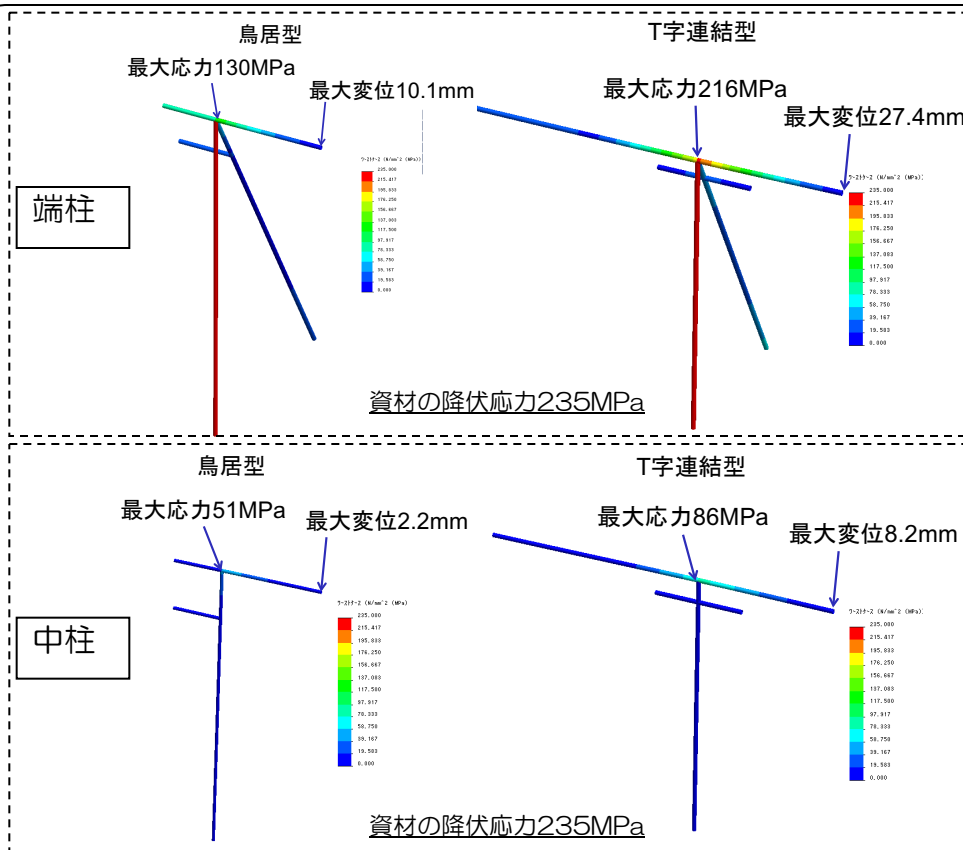
- 隣接する樹と樹を接木して一体化  
→管理作業の単純化と早期成園化が可能
- 使用する栽培棚のコスト低減  
→棚にかかる最大応力をシミュレーションし、改良



図1 モモジョイント仕立て樹形  
(樹と樹を接木し、一直線に連結した樹形)



図2 開発中の栽培棚



シミュレーションの結果  
資材の降伏応力  
(235MPa) に対し  
て、両方の形状とも  
に最大応力が降伏応  
力以下となった。



果実 (3t/10a相当)  
が実っても棚資材は  
塑性変形しない。

図3 模擬果実を着果させた場合の端柱および中柱へかかる応力のシミュレーション (西部工業技術センター生産技術アカデミー)